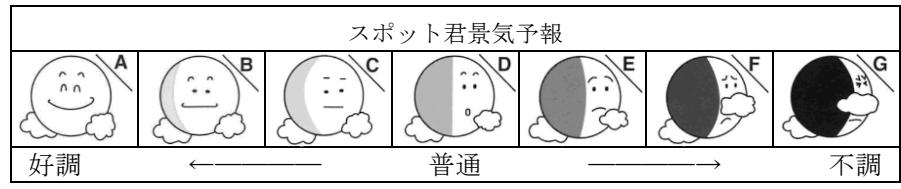


2. 目黒区内中小企業の景況（令和7年1～3月期）

(1) 今期の特徴点



製造業

業況は△10.5で前期比2.9ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は△0.8で8.5ポイント減と水面下に落込み、収益は△5.0で3.8ポイント減と多少減益が強まり、資金繰りは△11.8で0.8ポイント増と前期並の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況は0.4ポイント増の△10.1と今期並の厳しさが続く見込み。

卸売業

業況は△26.5で前期比4.2ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は△11.9で13.5ポイント増と大きく減少幅が縮小し、収益は△26.3で3.5ポイント増と幾分改善し、資金繰りは△19.9で9.4ポイント減と大幅に窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は2.8ポイント増の△23.7と厳しさが若干和らぐ見込み。

小売業

業況は△31.8で前期比13.6ポイント減と大きく厳しさを増した。売上額は△5.5で4.7ポイント減とやや減少が強まり、収益は△31.6で10.4ポイント減とかなり減益幅が拡大し、資金繰りは△1.6で1.7ポイント減と厳しい状況に転じた。来期の見通しについては、業況は16.6ポイント増の△15.2と大幅に持ち直す見込み。

サービス業

業況は△5.3で前期比2.4ポイント増とわずかに厳しさが和らいだ。売上額は△4.3で0.8ポイント減と前期並の減少が続き、収益は△12.2で2.5ポイント減と多少減益幅が拡大し、資金繰りは△4.1で1.3ポイント減と前期並の苦しさとなった。来期の見通しについては、業況は0.8ポイント減の△6.1と今期同様の厳しさが続く見込み。

建設業

業況は8.1で前期比14.4ポイント増と好転した。売上額は△3.5で1.4ポイント増と前期並の減少が続き、収益は△0.7で1.6ポイント増とやや持ち直し、資金繰りは2.3で2.6ポイント増と容易となった。来期の見通しについては、業況は1.3ポイント減の6.8と今期同様の楽な状態で推移する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

